

辺野古新基地建設反対

普天間基地の無条件撤去を

「辺野古埋め立て申請」するな

安倍内閣は、普天間基地を名護市辺野古沿岸に新基地を建設し「移設」を強行しようとしています。

辺野古新基地建設については、県内の全 41 市町村長が反対し、「普天間基地の返還と新基地反対」をかかげて県民大会などを開催し、オール沖縄の声として政府に新基地建設の断念を求めてきました。また、新基地建設阻止の「座り込み」が地元住民と県民、それを支援する全国からの参加者によっておこなわれており、辺野古沿岸には杭 1 本打たせていません。

政府は、こうした声を無視し、沖縄県知事に対して新基地建設のための「公有水面埋め立て申請」を今月末にも提出しようとしています。



アメリカの戦争のための辺野古新基地建設に反対し、安倍政権に「埋め立て申請するな」の声をあげましょう。

「主権回復の日」式典中止を求めます

安倍内閣は、サンフランシスコ講和条約が発効した 1952 年 4 月 28 日を記念して、4 月 28 日に「主権回復の日」の記念式典を開催することを決めました。

サンフランシスコ講和条約が発効した 1952 年 4 月 28 日は、旧安保条約が結ばれ、その後のアメリカ言いなりの体制がつくられると同時に、沖縄、小笠原、奄美が日本から切り離された日です。このような実態を偽って「主権回復」は、歴史を偽造し現実をゆがめるものです。私たちは、政府が「主権回復の日」の記念式典を中止するよう求めます。



オスプレイの配備撤回を 全国での低空飛行訓練はやめよ!

在日米軍は、普天間基地に配備されているオスプレイ 3 機を 3 月 6 日から 3 日間、米軍岩国基地に移駐し、四国・紀伊半島に設定されているオレンジルートで飛行訓練を実施しました。

これは本土での本格的な訓練の開始を意味します。防衛省は、この訓練がおこなわれるにあたり、オレンジルート下の自治体に、前日の夕方 1 枚のファックスで「通知」し説明はいっさいなし。

昨年、10 月に普天間基地に配備されたオスプレイは、沖縄県内の市街地および学校上空でヘリモード変換、低空飛行、夜間飛行、3 トンのコンクリートブロックを吊り下げての訓練など「運用ルール」違反の危険な飛行を繰り返しおこない、県民の命と生活を脅かしています。

「米軍輸送機オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練中止」を求める署名を全国各地でとりくみましょう。ご協力をお願いします。

安保破棄中央実行委員会 Eメール anpohaiki@nifty.com
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765

2013 年
3 月